

道路41 国道55号の二次改築(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知4	国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所編「土佐国道事務所40年のあゆみ」(国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所、2003年)、59頁、62頁	<p>国道55号南国バイパス (中略)南国バイパスの開通による旧道の混雑緩和や交通公害の減少はデータによっても実証され、緊急車両の活動エリアが拡大するなど地域の生活環境改善に大きく寄与している。</p> <p>国道55号吉良川改良 室戸市の吉良川地区は、1次改築の際に現道の整備だけが行われたため、幅員が狭く、制限速度も低く抑えられていた。 区間の一部は黒耳局改として昭和60年にバイパス工事が完了していたが、平成5年に平尾地区680m、10年には西灘地区1.3kmの工事が完了。延長4.5kmにわたって交通環境が改善され、スムーズな走行を実現するとともに、通園・通学などの安全性も大きく向上した。</p>

道路41 国道55号の二次改築(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知155	国土交通省四国地方整備局編「一般国道55号元改良(事後評価)」(平成19年度第2回事業評価監視委員会資料、2007年)、8-16頁、21頁	<p>国道55号元改良の事業効果</p> <p>(1)渋滞損失時間の削減 国道55号の元改良が整備されたことにより、国道の走行速度が上昇して所要時間が短縮され、事業区間の渋滞損失時間を56千人・時間/年(80%)低減することができた。</p> <p>(2)走行速度の向上 元改良の整備により、国道55号の走行速度が約43km/hから約51km/hに向上した。</p> <p>(3)バス路線の利便性向上 元改良の整備により、旧国道の混雑が緩和され、公共交通であるバスの定時性が確保された。</p> <p>(4)後免駅へのアクセス向上 元改良の整備により、特急停車駅であるJR後免駅へのアクセスが向上した。(室戸市～後免駅の所要時間が87分から86分へ1分短縮)</p> <p>(5)高知龍馬空港へのアクセス向上 元改良の整備により、第二種空港である高知龍馬空港へのアクセスが向上した。(室戸市～高知龍馬空港の所要時間が82分から81分へ1分短縮)</p> <p>(6)高知港へのアクセス向上 元改良の整備により、重要港湾である高知港へのアクセスが向上した。(室戸市～高知港の所要時間が103分から102分へ1分短縮)</p> <p>(7)農林水産品の輸送支援 元改良の整備により、地域の農林水産品を物流拠点施設や市場へ輸送する大型車の円滑な走行が確保された。</p> <p>(8)安芸市へのアクセス向上 元改良の整備により、安芸地方生活圏の中心都市・安芸市へのアクセスが向上した。(室戸市～安芸市の所要時間が48分から47分へ1分短縮)</p> <p>(9)観光レクリエーション施設へのアクセス・利便性向上 元改良の整備により、室戸市の主要な観光レクリエーション施設へのアクセス性及び周遊する観光交通の利便性が向上した。</p> <p>(10)歩行者・自転車の安全性の向上 元改良の整備に伴い自転車歩行者道(幅員3.5m)が設置されたことにより、歩行者・自転車等の安全性が向上した。</p>

道路41 国道55号の二次改築(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知155	国土交通省四国地方整備局編「一般国道55号元改良(事後評価)」(平成19年度第2回事業評価監視委員会資料、2007年)、22-29頁	<p>国道55号元改良の事業効果</p> <p>(11)三次医療施設へのアクセス向上 三次医療施設である高知医療センター及び高知赤十字病院内の救命救急センターや、二次医療施設である室戸病院へのアクセスが向上した。(室戸市～高知医療センターの所要時間が101分から100分へ1分短縮、室戸市～高知赤十字病院の所要時間が111分から110分へ1分短縮)</p> <p>(12)現道の安全性の向上 元改良の供用に伴い通過交通の約85%がバイパスに移行し、現道の安全性が向上した。元改良の整備前には年平均約3.4件の死傷事故が発生していたが、整備後の旧国道では約5年間で1件しか発生していない。</p> <p>(13)災害への備え 旧国道区間は東南海・南海地震による津波の浸水が予測されているが、元改良は津波の影響を受けない。震災時における国道55号の寸断が回避され、災害時にも緊急活動の支援道路として機能し、防災対策や危機管理の充実に寄与している。</p> <p>(14)CO2排出量の削減 元改良の整備による交通の円滑化に伴い、1年あたりのCO2排出量が260t-CO2/年程度削減された。</p> <p>(15)NO2・SPM排出量の削減 元改良の整備による交通の円滑化に伴い、現道部における自動車からの二酸化窒素(NO2)排出量が約92%、浮遊粒子状物質(SPM)排出量が約92%削減され、沿道住民の生活環境が向上している。</p>

道路41 国道55号の二次改築(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知355	国土交通省四国地方整備局編「一般国道55号大山道路(事後評価)」(令和元年度第3回事業評価監視委員会資料、2019年)、5-10頁	<p>国道55号大山道路の事業効果</p> <p>(1)災害時の交通途絶危険箇所の回避 大山道路開通により、交通途絶危険箇所を回避した信頼性の高い道路を確保。大山道路は、高知県東部唯一の幹線道路(旧国道55号)の代替路として機能し、通行止めによる中芸・室戸の孤立解消に貢献。</p> <p>(2)信頼性の高い救急搬送ルートの確保 大山道路開通により、通行止めの心配が無くなることで年間約1,400件の救急患者を安全に搬送できるなど、信頼性の高い救急搬送ルートが確保。</p> <p>(3)県東部地域の広域行政を支援 芸西村から東洋町までの9市町村の一般ゴミは安芸広域メルトセンターで処理されており、1日あたり約34台のゴミ運搬車両が大山岬付近の国道55号を使ってゴミを運搬。大山道路の開通により、当該区間の交通遮断が回避されることで県東部地域の広域行政を支援。</p> <p>(4)信頼性の高い物流ルートの確保 大山道路開通により、通行止めの心配が無くなることで迂回による時間のロスなく搬送できることに加えて、高知東部自動車道等と相まったアクセス性の向上により、安定した鮮魚の出荷が可能。</p> <p>(5)地域産品の流通を支援 大山道路開通により、高知県産ゆずの約3割の生産を担う県東部地域(安田町以東)からの集荷便が不通とならないことに加えて、高知東部自動車道等と相まったアクセス性の向上により、市場へ安定的に出荷できることで地域産品の流通を支援。</p> <p>(6)道の駅を核とした地域活性化 旧国道55号の交通が減少し、安全な道路空間が確保されたことを契機として、「道の駅大山」を核とした地域活性化を実践。道の駅を案内する標識の充実や安芸市による市中心部～道の駅大山などを周遊する観光コースの形成等により、道の駅大山の入込客数や地場産品を利用したちりめん井販売数は近年増加。</p>